

やっさ祭り ゴミへらし隊「エコレンジャー」委員会 == 実 施 報 告 ==

文責：末本尚吾

《実施日時 実施人数》

8月11日 9:00~23:00 ……66名

(小学生：3名、中学生10名、高校生17名、大学生1名、社会人19名、イオンチアーズクラブ16名)

8月12日 10:00~23:00 ……40名

(中学生9名、高校生9名、大学生1名、社会人21名)

8月13日 10:00~23:00 ……39名

(中学生18名、高校生2名、大学生2名、社会人17名)

3日間総数……のべ145名

1. 報告—ゴミ分別—

《分別実施項目(12分別)》

- | | |
|-----------|--------------|
| ①! アルミ缶 | ⑦! 生ビールプラカップ |
| ②! スチール缶 | ⑧! 容器包装プラ |
| ③! ペットボトル | ⑨! 割り箸 |
| ④! びん | ⑩! 竹串 |
| ⑤! 汚れたトレイ | ⑪! もやさないゴミ |
| ⑥! カキ氷カップ | ⑫! もやすゴミ |

※ リサイクルされるもの

① チューリップ作業所にて洗浄後、朝日アルミ産業(株)(総社市)へ

② チューリップ作業所にて洗浄後、相互物産(株)(福山市)へ

③ きぼう作業所にて洗浄後、(有)すずか(三原市)へ

④ (株)森剛で回収

⑤⑥⑦⑧ エコレンジャーで洗浄後、容器包装プラスチックとして環境管理課で回収。(⑥⑦は花火会場回収分を除いて全て洗浄した。⑤は出来る限り洗浄し容器包装プラスチックとした)

⑨エコレンジャーで洗浄後、呉王子紙業(株)へ

⑩昨年は、NPO 法人「ネットワーク竹原」にて引き取り、堆肥化してもらっていたが、今年は竹はしの利用をやめたことに伴い、竹串はもやすゴミとした。

Ⓔ! 花火会場では花火終了後にごみを捨てる人が集中するため、分別を一部省略している。

アルミ缶とスチール缶を同一に収集。ペットボトルのキャップ、ラベルは、できる時のみ外す。これらとビンを除いて、後は全て燃えるゴミとした。

《分別回収したゴミの量》

	11日		12日		13日		花火会場	合計（花火会場は除く）		2005年
	kg	袋	kg	袋	kg	袋	袋	kg	袋	袋
アルミ缶	17.9	9	42.6	18	15.5	8	5	76	35	49
スチール缶	4.5	1	8.3	2	4	1		16.8	4	4+1/2
ペットボトル	14.9	8	34.7	19	17.2	11	5	66.8	38	49+1/3
かき氷カップ	7.7	3	3.4	2	1.1	1		12.2	6	
ビールカップ	4.6	1	3.4	1				8	2	2+α
汚れたトレー	5.4	10	13.9	18	0.3	1		19.6	29	8+α
容器包装プラスチック	4.7	5	9.3	7	7.8	7	1	21.8	19	
ビン	11.8	2	6.1	1				17.9	3	5
もやすゴミ	60.4	30	76.1	38	20.8	10	30	157.3	78	
割り箸								9.7		約1200膳
竹はし	3.2	1	6.8	3				10	4	2

《昨年との変更点》

変更後（今年度概要）	変更前（昨年度概要）	理由等
<p>分別項目から「きれいなトレー」を削除、「容器包装プラスチック」を追加。該当のものは一括して三原市で回収してもらった（祭り後の月曜朝に3日分まとめて回収）。事業ゴミを市で回収するのは異例のことだが、市民（参加者）への啓発に重点を置いていること、洗った上で引き渡すということで、配慮いただいた。</p>	<p>容器包装プラスチック、ビールカップは、汚れているものは、燃やすゴミ、きれいなものは、燃やさないゴミ。 トレーは回収して（株）エフピコ（福山市）へ。 かき氷カップはEP溶剤に浸けて溶かし、道原運送へ（久井町）。</p>	<p>三原市が4月から容器包装プラスチックの回収リサイクルを始めたから。</p>
<p>竹はしは、今年もやすゴミとする。</p>	<p>NPO法人「ネットワーク竹原」でチップにして、肥料にした。</p>	<p>昨年はNPO法人「ネットワーク竹原」から竹はしを提供してもらったが、①屋台村での使用分全てをこの竹はしにすることは不可能（製作が難しい）②使用する人が、竹はしと割り箸の違いを理解しないまま使用しているの2点から、今年竹はしの利用をやめた。</p>
<p>計測方法として、袋の個数と重さを計測（花火会場を除く）。</p>	<p>袋の個数のみ計測。</p>	<p>より詳細にゴミの量を把握する為。</p>

分別ボックス、既存ゴミ箱封印用の表示などをラミネート加工した。	毎年、当日、手書きをしていた。	ゴミ袋を出し入れするたびに、汚れたり、破れたりしていた。当日準備の時間短縮になる。
---------------------------------	-----------------	---

《評価》

【JR 三原駅前周辺】

- ・ 年々、分別に対する認識が高まっていると感じる。今年も、分別に対して協力的で良い傾向だと思う。
- ・ ゴミの量を見ると昨年と比べて減少している。しかし、原因がゴミ減量の意識が高まった結果なのか、参加者が昨年よりも減少した結果なのかは分からない。
- ・ 三原市が4月から容器包装プラスチックの回収リサイクルを始めたことから、新しく容器包装プラスチックの回収を始めた。今まで、もやすゴミとして処理したものをリサイクルする事が出来たのは良かった。
- ・ 今年も集積所に店出者からのゴミの持ち込みがあったが、店出者のゴミは回収できないことを説明して対応した。特にトラブルはなかった。

【花火会場】

- ・ 昨年と比べて、分別に協力的な人が多く見られた。
- ・ 出来る限りの分別をする事が出来た。(ペットボトルのラベル、キャップを外す。かき氷カップ、ビールカップの別回収)

《これからの課題》

【JR 三原駅前周辺】

- 容器包装プラスチックの回収について
 - ・ 来年も環境管理課で収集して貰えるか早い段階から確認を取っておく。
 - ・ 汚れたトレーはかき氷カップ、ビールカップと比べて汚れが酷く洗浄に手間がかかる。そのため、一部をもやすゴミとして出したので、余裕のある午前中に集中して洗浄を行うなど来年は徹底を進める。
- 収集したゴミの重量の計測について
 - ・ 今年から、より詳細にゴミの量を把握する為に重量も計測した。しかし、ボランティア内で計測するゴミの項目分けが上手く共通認識出来ておらず、計測に不備があった。来年はきちんと計測方法について、ボランティア内で認識を統一することと、専用の記録用紙を作成して対応する。
- 分別方法の混乱について
 - ・ ボランティア内で分別方法について混乱があった。特に、容器包装プラスチックの分別方法で混乱があった。具体的には、白い発泡トレーと、透明なトレーは一緒なのか区別するのかなど。来年は、分別方法についてメインスタッフでの話し合いで認識を統一し、当日のボランティアに分別方法を混乱なく説明できるようにする。
- 集積所について
 - ・ ゴミ集積場に捨てに来る人がいるため「ゴミを捨てるところではありません」というメッセージを置く
 - ・ KEEP OUT のテープみたいな分かりやすいもので立ち入り禁止区域を区切る(ゴミ集積場のロープが張ってあったところ)

【花火会場】

- ・ 花火会場の準備物確認の責任者を用意する。今年は、委員長が準備物の確認や事務局との連絡を取っていたが、他の事と並行して行うことが出来ず、不備がいくつかあった。
- ・ 生ゴミ用のポリバケツ、ザルをもう1セット用意する。分別ボックスを挟んで両脇にある方が、花火終了直後の忙しいときに分別で対応しやすい。
- ・ ゴミの重量計測を徹底するのならば、花火会場用の量りが必要。



参加者自らゴミ分別して下さり、とても協力的でした。



高架下で割り箸、トレー、かき氷・ビールカップの洗浄をしています。



割り箸は洗浄後、乾燥させます。横には説明書きを置いています。

2. 報告ーゴミひろいー

《実施内容》

ゴミひろいスタッフ募集、ゴミひろい実施

《実施場所》

祭り会場(JR 三原駅周辺)

《昨年との変更点》

変更後（今年度概要）	変更前（昨年度概要）	理由等
J Tのゴミ袋（小）を一般の参加者にゴミ拾いをしてもらう。	ゴミ袋なし。	やっさ祭り実行委員会本部より、J Tゴミ袋の提供があったため、趣旨に賛同し、採用。

《評価》

- ・ ボランティアの事前学習を兼ねての事前 PR を7月30日に決行。祭当日のボランティアに対して、環境学習と祭当日の内容説明を行った後、駅前周辺のゴミ拾いを行った。一般の方々に励ましの言葉を頂き、PRとしての効果もあったと思う。
- ・ 第三中学校、三原高校から、多くの参加があった。

《これからの課題》

- ・ まだ祭り参加者の少ない日中にボランティアが集中して、ゴミ拾いの人員が過剰になっていた。来年は高架下での割り箸、トレー、かき氷カップ、ビールカップの洗浄にまわすなどして、調整する。
- ・ 反対に夕方以降の忙しい時間帯にボランティアが不足して、ゴミ拾いを十分に行うことが出来なかった。
- ・ 昨年同様、駅備え付けのゴミ箱についている灰皿が、壊れていて、そこに、ゴミがあふれている。

- ・ 最終日に、既存ゴミ箱傍に、業者の置き去りゴミがあった。
- ・ JTのゴミ袋（小）を200枚いただいたが、一般のゴミ拾い参加者は、いなかった。
日中のボランティアのゴミ拾いに、丁度よい大きさだったので、利用した。



学生ボランティアがゴミ拾いを頑張ってくれました。



ボランティアの少ない夜間は、ゴミ拾いが行き届かず、ごみ箱からゴミが溢れています。

3. 報告－リユース・マイはしー

《実施内容》

	レンタル (準備)総数	利用(販売)数				
		11日	12日	13日	合計	2005年合計
ビールカップ	500	20	9	7	36	35
かき氷カップ	100	39	61		100	—
リユースはし	200	13	4	4	21	11
マイはし(販売用)	70	1	5	5	34	75
エコマネー	150	24	65	6	95	27

※マイはし(販売用)の合計は、事前販売分を含む

《実施場所》

リユースカップ、リユースはしの取り扱い・・・「エコレンジャー本部」

マイはしの販売・・・・・・・・・・・・・・・・・・「エコレンジャー本部」「グッズ販売テント」

《昨年との変更点》

変更後(今年度概要)	変更前(昨年度概要)	理由等
横断幕の作成「リユース食器 使ってね(ecoがえる)」(白地に黒)	横断幕なし。	リユース容器の利用促進と、回収場所をわかりやすくするため。
かき氷カップのリユース容器採用。	リユース容器の使用なし(スタッフのみ、生ビール用リユース容器を利用)。	ゴミゼロに向けて、リユース容器の利用を促進するため。

《評価》

- ・ 新たに導入したかき氷用リユースカップは好評を得て100個、全てを利用出来た。
- ・ 全体的に利用者数が増加している。リユースカップの認知も高まっていると感じた。
- ・ 新たに作成した「リユース食器 使ってね (eco がえる)」(白地に黒)の横断幕と、昨年作成した横断幕の二つをテントに設置して、より周りからテントが分かり易くなっていた。
- ・ リユースカップ、リユースはしの利用の呼びかけを駅前会場内で回りながら行ったのが、利用促進につながった。
- ・ エコレンジャーとのじゃんけんで勝つとエコマネーが貰える事が、好評だった。

《これからの課題》

- ・ ビール用リユースカップのサイズが現在の物では大きいので、もっと小さい物にして欲しいと、出店者から要望があった。
- ・ リユースカップのレンタル先として、鳥取の環境団体「MEDAKA」が新しくできたので、現在のNPO法人「スペースふう」を含め、どこからレンタルするか再検討する。
- ・ かき氷カップを先駆けとして、屋台村内で販売品の容器を指定する事を目標とする。

エコレンジャー委員会としての

第一希望 容器をリユースカップに統一する。(業者に全額負担してもらえるかどうか?)

第二希望 発泡かき氷カップを使わず、紙かき氷カップを使ってもらうようにする。

(参考)

◆リユース容器は、1000 個以上だと、1 ヶ月半前から予約が必要 (その後でも、数が揃えば、貸していただける)

◆発泡のかき氷カップ 100 個 787 円 1 個 7.87 円(インターネットで検索)

◆紙のかき氷カップ 2500 入り 31500 円 1 個 12.6 円(")

◆リユースカップ 1 個 25 円

- ・ 今年、試験的に行ったリユースカップ、リユースはしの利用促進の為の駅周辺会場内の巡回を、来年は本格的に行う。(夜のボランティアの確保が必要)



たくさんの方がリユースカップを利用してくれました。エコレンジャーも大人気でした。(左は会場内でリユースカップをPRしながら貸し出し中のエコレンジャー)

4. 報告—ステージでのエコレンジャー寸劇—

《実施内容》

祭り参加者に環境学習とやっさ祭ゴミへらし隊エコレンジャー委員会の取り組みを広く知って貰う為にステージでの寸劇を行った。

《実施日時》

11日 12:30～13:00

12日 11:30～12:00

《評価》

- ・ 目的のやっさ祭ゴミへらし隊エコレンジャー委員会の活動について、認知の向上が出来た。
- ・ エコレンジャー寸劇後、エコレンジャーの服装でリユースカップ、リユースはしの利用促進の為に駅前会場内の巡回を行ったところ、祭り参加者の興味をひき、利用者の増加に繋がった。
- ・ エコレンジャーの写真を、エコレンジャー本部、花火会場に貼ることで注目が集まった。

《これからの課題》

- ・ 今回は準備期間が少なく十分な練習の出来ない状態での公演だったので、来年は準備期間を多く取り、更にやっさ祭ゴミへらし隊エコレンジャー委員会の活動が理解される内容にしたい。
- ・ 今回のエコレンジャー寸劇の映像を、小学校などでの環境学習に役立てたい。
- ・ 炎天下では暑いので衣装を、涼しいデザインのものにしたい。
- ・ 今年の結果を踏まえてさらなるPR効果を高めるためにも、寸劇の時間帯を、より人通りの多い時間帯にしてもらいたい。



今年、大活躍のエコレンジャーです。来年は更に活動のPRとして役立てていきたいです。

5. 全体を通して

年々、祭り参加者の分別に対する意識が高まっていることを感じる。同時にやっさ祭ゴミへらし隊エコレンジャー委員会の活動も、広く認知されていっていると思う。

そして、今年のはかき氷用リユースカップの導入、エコレンジャー寸劇や、リユースカップを持って駅前会場内で巡回しながら利用を呼びかけるなど、例年に増して積極的な取り組みをすることで、リユースカップの使用数の向上などの成果を出すことが出来た。また、事前PRとして駅周辺のゴミ拾いも今年初めて行い、委員会として大きく成長をする事が出来た。

6. これからの展望

分別ボックスで祭りから出るゴミを出来る限りリサイクルを行い、ゴミ拾いで会場内の清掃を行っているが、この委員会の本来の目的は「ゴミゼロ」である。その為に、リユース容器の利用を高め、ゴミの出ない祭りを目指す。将来的には祭りで使用される容器をリユース容器に、出来ないか検討していく。

7. メディア、その他での紹介

- ㊤! 三原テレビ（7月6日取材）
- ㊤! 広報みはら（7月掲載）ボランティアの募集（8月掲載）活動内容のPR
- ㊤! 朝日新聞（7月26日掲載）ボランティアの募集三原TV（7月26日収録）活動内容のPR
- ㊤! 読売新聞（8月2日掲載）ボランティアの募集
- ㊤! 朝日新聞（8月11日掲載）
- ㊤! 中国新聞（8月26日掲載）エリアだより

8. 参考資料

- ★リユース容器のレンタル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・NPO法人「スペースふう」
<http://www.spacefuu.net/>
- ★マイはし登録・・マイ箸大作戦
<http://www.tentsuku.com/>
- ★ごみゼロナビゲーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・A SEED JAPAN
<http://www.gomizero.org/index.html>
- ★ゼロ・ウェイスト キャンペーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・グリーンピース
<http://www.greenpeace.or.jp/campaign/toxics/zerowaste/?zw>
- ★つくろう！ごみゼロ社会、変えよう！容器包装リサイクル法・・・・・・・・・・・・・・・・
容器包装リサイクル法の改正を求める全国ネットワーク
<http://www.citizens-i.org/gomi0/>
- ★脱・使い捨て社会への道すじを探る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・FoE Japan
<http://www.foejapan.org/lifestyle/gomi/index.html>
- ★広島県の環境情報サイト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ECOひろしま
<http://www.pref.hiroshima.jp/eco/index.html>
- ★祭りのごみダイエット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・広島県環境保健協会
http://www.kanhokyo.or.jp/2_tiiki/2070_gomi_diet.html
- ★上勝町ゼロ・ウェイスト政策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・徳島県上勝町
<http://www.kamikatsu.jp/zero-waste/frame.htm>

Special thanks to 環境ネットワーク三原

<http://sakura.canvas.ne.jp/spr/muginoko/top.html>

ネットワーク『みどりのはらっぱ』 <http://www.geocities.jp/netmihara/>